

資料：陳情書の背景

突然のお手紙を差し上げ、恐縮至極に存じ上げます。

小生、数年前から牧野光先生の「国際農業開発アカデミー」(IFDA)¹お手伝いしている一人で、IFDA設立準備委員会事務局東京本部長を仰せ使っている者です。今までの大学設立の東京での準備状況の一端は、小生の責任で記録し、サイトにアップしています。事務局が正式に立ち上げれば、公式サイトも準備される予定です。今の難局を打開するには、広瀬知事にご相談するのが一番との結論を得て、お手紙を差し上げること無礼をお許しください。

知事様も先刻ご存じのように牧野先生は鋭意努力7年にして、昨年11月1日、この学校設立の国連認証(ECOSOC; アドバイサリーステータス)²頂かれました。この認証は、昨年はアジア大陸でただ1つだったと伺っています。

国連当局認証の要因は、第1に牧野先生の恩師である遠山正瑛先生の業績が大きいと思います。遠山先生は晩年96歳で逝去されるまで、内蒙古の砂漠緑化、ポプラ300万本植林をされ、中国政府もその業績を高く評価し現地に記念館・銅像も建っています。牧野先生は遠山先生の右腕として現地で実践されました。第2に牧野先生のIFDA創設の高邁な精神、穏やかな人柄、数々の困難を乗り越えて継続される不屈の忍耐力に国連当局者たちも感動していること、ECOSOC常連であるオイスカ・インターナショナル渡邊忠副総裁が熱心に仲介くださったこと。第3に微生物学者としての牧野先生の画期的な研究、農業実践の成果が挙げられると思います。

小生が、牧野先生と知遇を得るようになったのは、中川十郎先生(元東京経済大学教授・日本ビジネスインテリジェンス会長)を通じてでした。小生は、このプロジェクトを実現するには、まず有識者に知っていただきことだと思い、当時伊豆の山荘に暮らしていましたが、毎月何回は上京して設立準備会を開催したり、キーパーソン、関係機関に牧野先生をご案内したり致しました。

ただ、せっかく得た国連認証も1年目を迎える「この11月1日までに具体的な準備がなされない場合は、認証が取り消される。」との通達が国連当局からあったとのことです。

この件につき、宮田清蔵先生³(元東京農工大学長、NEDOプログラムマネージャー)相談すると、「農工大は国立でなかなか動きづらい。私立なら自由度がある。大学設置審議会委員をしていた頃、大分県の農業大学校の状況を聞いた。県と相談してやるのが良い。」と数年前にお伺いしたアドバイスと同じでした。

¹ [IFDA 設立準備東京事務局仮サイト](#) 二

² [国連\(ECOSOC\) 認証書](#)

³ [宮田清蔵氏コメント](#)

もし県が基軸となっていたら、[東京農大](#)⁴、[筑波大学](#)⁵の国際科学振興財団、九大等との連携もムースに行くことも望めます。晩年病床の身であられながら、村上和雄先生にはIFDF設立の件に関して、一方ならぬご尽力をいただきました。僭越ながら、今回陳情を申し上げますのは、牧野先生は長年受け皿を探して東奔西走されましたが、まさに「青い鳥」、「梅の花が咲いた所を求めて南に下った人が帰って見たら自分の家の庭に梅の花が咲いていた」と東西の古のことわざ「却下照顧」の教訓にあるように、身近なところに解決策があるのではないかと感じたからでございます。

以下蛇足に過ぎるかも知れませんが、関連すると思われる出来ごとをにつき陳述することをお許しください。

1990年代一時期、[郷里鳥取へUターンして](#)⁶、[地域活性化と大学設置](#)⁷に取り組みました。全国市町村の活性化のための全国集会在大分県別府市で開催され、平松守彦知事の基調講演をお伺いしました。別府市の斜塔は、誰しも世界の中心であるとのメッセージ。グローバルの視座の下、車座になって若者たちと膝を交えるダイナミックな平松知事の姿勢には特に感銘を受けました。その折、全国の地方活性化の研究をされていた奥山育成教授（鳥取大学社会システム学科）等と小国町を訪問しました。キブツを農村活性化のモデルとして日本に紹介されていた草刈善三先生（元釧路短大校長、鳥取県出身）の依頼で、何度か全国から集まった農業者たちの通訳として[キブツ研修に随行](#)⁸したことがあり、大山町、矢幡町長のご活躍もよく存じております。また、平松知事が誘致され、積極的にご協力された「[アジア太平洋大学](#)」[構想](#)⁹は1978年8月、富士の裾野で「太平洋時代」をメインテーマに開催された国際会議（第8回ICWP）の第3分科会で提言されたものです。この経緯を平松知事にお伝えしたところ、ご丁寧なご返信を頂きました。

2019年11月、92歳でNY在住の世界的心臓外科医、[廣瀬輝夫先生](#)¹⁰は逝去されました。廣瀬先生は、ここ20年、春夏の2回、来日され、日本における医療改革に貢献されました。

一つにはどんぶり勘定の日本の医療経営の近代化、他の一つが近代医療と伝統医療の融合でした。「医は仁術」、金持ちしか救われない近代医療から万人のための医療の道を開拓するべく、廣瀬先生は世界の医療事情をつぶさに調査され

⁴ [東京農業大学高野学長への親書](#)

⁵ [村上和雄先生ほか](#)

⁶ [鳥取を拓く](#)

⁷ [地域活性化と大学設置](#)

⁸ [キブツ研修レポート](#)

⁹ [アジア太平洋大学構想](#)

¹⁰ [廣瀬輝夫博士](#) [廣瀬輝夫オフィシャルWEBサイト](#)

ました。東西を融合した医療、小生は高校の後輩の医者を紹介すると廣瀬先生は融合医療の後継者として即座に彼に白羽の矢を当てました。御来日の折、お手伝いしている内に、廣瀬先生は日本の医師会が最も尊敬する医者でいらっしゃるのことがわかりました（日本医師会名誉会員第1号）。お蔭で小生も医学界の現況、重鎮の諸先生を知るようになりました。ある新進気鋭の医者から、武見太郎先生が「これからは医者も薬も必要のない時代が来る。」「これからは、薬よりも食。この食を生産する農業が大切になってくる。」とおっしゃっていたと伺い、目から鱗でした。それまではよく耳にする武見太郎先生は医学界のドンぐらいにしか思っていまらなかったが、医療の未来を見通したすごい方だと認識を新たにしました。

1943年生まれ、今年79歳になり小生も、人生の総整理する段階に入っていると自覚しています。小生の心境を察した友人が、伊豆の山荘を提供してくれ、2年8ヶ月ほど、富士山を見ながら温暖な気候の中で過ごしました。夏目漱石、井上靖、川端康成、芹沢光治良等多くの作家が伊豆を好んだこともよく理解できました。この友人が小生のために折角書庫まで造って準備してくれたのに、小生は自叙伝の一冊さえもまとめることができず、下山してしまいました。山を下りるときには70箱を越す段ボールでした。「大学設置の事務局を作るから」と牧野先生からお声がかかり、大半の段ボール箱は大分に送りました。幼いころから人一倍感受性の強い小生は、腰を落着けた物書きにもなれず、仙人のように超然と生きられない弱い人間、単なる便利屋、小間使いに過ぎないのではないかと自嘲しています。

1963年、早稲田大学理工学部1年生の折、当時は理工ブームの時代でした。家が電機会社であったせいもあって、電気工学科に入ったものの、科学技術の先兵になる道を離れて、「人と人の心の仲人になろう！」¹¹と一大決心をして歩んだ60年、いかほどのことがなせたのであろうか？ 特に2002年からの20年間、まったくのボランティア人生でした。「お金が無くても人がいなくても何か世のため人の為に役立ちたい。」との至情が天に通じた性か、日本最大のシンクタンクの所長と[未来構想戦略フォーラム](#)¹²を立ち上げることができました。2005年11月には40団体のNGO/NPOのリーダーが外人記者クラブに集い、[市民国連（地球市民機構）](#)¹³を立ち上げました。国連本部と呼応し、地球市民活動を展開するまでには発展しました。長年国連に働く諸先輩から学んだのは、日本から世界を考えるのではなく、まったく逆に世界から日本を考える。そのことが思考パターンとなっていることです。この間多彩な活動を展開してきましたが、「志一つで成る！」と痛感しています。大切なのは、世の中に向けて、「この指に留まれ！」と高邁な大義の旗を掲げることだと思いま

¹¹ [「人と人の心の仲人に！」](#)

¹² [NPO 法人未来構想戦略フォーラム](#)

¹³ [市民国連（地球市民機構）](#)

した。如何に多くの人々が「少しでも世の中の為に尽くしたりしたい！」と
思っているかということです。この20年間、感動の連続¹⁴、あっという間の20年
でした。ノーベル平和賞を受賞したロシアのジャーナリストが記念の金メダル
をオークションに出したら、140億円もの値が付いたことが報道されています。
「世界に金がないのではなく、人々の共感を呼び、金を引き寄せるだけの魅力あ
るイベント、スローガンが無いことが問題である」と痛感します。

そのような中でも後藤新平の次の言葉は胸に沁みるこの頃です。
「金を残して死ぬものは下だ。仕事を残して死ぬものは中だ。人を残して死ぬ
ものは上だ。」

小生も今までいろんなことを為してきましたが、教育こそ最大の「後世への
偉物」ではないかと痛感するこの頃です。福沢の慶応義塾、大隈の早稲田大学
にしても、彼らの為した人材貢献は巨大で、かつその偉業は減るどころか、鼠
算的に増大、伝統が続く限り永遠に残ります。

中曽根内閣の折には、首相との取次で岩崎八洲男秘書官にしばしばお世話に
なりました。世界各国でJETROの開拓した人脈は、大使館を凌ぐ人脈であるこ
とに気付かされ、経済産業省の力には感心したものです。高邁なフィロソフィ
ーに基づき、グローバルな基盤を築かれた平松知事の偉業を継承され、世界農
業遺産の大地に後世に永遠に残る教育機関を設立されることをご検討下さるよ
うに伏してお願い申し上げます。

国連当局も宇佐八幡宮の由緒ある土地が生かされることを期待をもって見つめ
ています。

令和4年7月4日

大脇準一郎 拝

I F D A 設立準備委員会事務局東京本部長

NPO 未来構想戦略フォーラム/地球市民機構共同代表

広瀬勝貞 大分県知事 殿

¹⁴ [実例：第1回平和文化フォーラム](#) [スタッフの感想](#)